

# Weekly コラム

令和4年11月29日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## リモートワークと雇用形態

新型コロナ感染防止のため、リモートワーク（在宅勤務）が普及したおかげで、ここ数年で我が国の労働者の働き方はかなり変わってまいりました。

実際、リモートワークを始めると、通勤地獄からの解放、通勤時間短縮による実質労働時間の増加、さらにワークライフバランスの改善など、メリットが多いのではないかと声も聞かれます。そして、在宅勤務で上司の監視の目が届かないと、部下は真剣に仕事をしなくなり、能率が下がるのではないかと、何とも日本的な疑心暗鬼の懸念もありますが、そう心配したほどでもなさそうです。わざわざ、長い時間をかけて通勤し、皆で角を突き合わせて働くよりも、自宅で仕事をした方がパフォーマンスは上がるという人もいます。

一方、リモートワークにどんなメリットがあろうが、職場のメンバーがリアルに集合し、皆で協力してチームワークで仕事を進めた方が最終的な効率も上がるし、日本の風土にも適合している。だから、そう簡単には変わらないだろうという意見も根強く存在します。

リモートワークが普及するかどうかは、雇用形態が決定的に重要です。雇用形態には、ジョブ型とメンバーシップ型があります。ジョブ型は明確に定義された職務に対し、そのスキルを持った人間を雇用します。給料はスキルに対して支払われますから、年齢に関係なくスキル次第で高い給料を得ることができます。同じスキルでも社外人材の方が安ければ、社外から調達することもあるでしょう。一方、

メンバーシップ型は、果たすべきジョブは事前に明確になっていません。どこでどんな仕事をするかは会社の都合によります。給与は組織に所属していることに対して支払われますから、所属時間が長いほど、つまり年功序列で高い給料が支払われます。

雇用形態の相違は採用面から変わります。ジョブ型では、採用される前に持っているスキルが問われ、現在、身に付けていないとしたら、これから主体的にどのようなスキルを身に着けるつもりなのかということが重要になります。他方、メンバーシップ型では採用前のスキルではなく、その会社の組織のメンバーシップとしてふさわしい人物なのかを見ようとしています。組織とうまく調和できるのか、といったことが重要になります。仕事上必要とされるスキルは会社主導でOJTを軸に取得されますから、これから様々な職務をこなすだけの基礎知識と柔軟性を持ち合わせているかが問われます。

両者は副業についての考え方も異なります。メンバーシップ型は組織への忠誠心が重視されますから副業には消極的です。一方、ジョブ型では勤務時間を拘束するのではなく、定められたジョブを果たすことが求められます。時間の使い方は拘束されないのですから、時間が余れば、所有するスキルを使って、他の会社の仕事をする副業も必然的に認める方向になるでしょう。

リモートワークに適しているのは、いうまでもなくジョブ型です。メンバーシップ型でもある程度の普及は可能でしょうが、メンバーシップ型はその性質上フェイストアップフェイスが不可欠となりますから、メンバーシップ型にこだわれば、リモートワークの効果は限定的か、あるいはかえって逆効果になるかもしれません。したがって、リモートワークが本格的に普及するためには、雇用形態がジョブ型に切り替わるが必要になります。

記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。